森と木から考えるSDGs

みやぎSDGs新報
えすでーズーズー
第8号
2022年8月29日（月）
発　　行：河北新報社営業局
特別協力：SDGsとうほく

みやぎSDGs Farm
賛同企業
募集中!!
［申し込み・問い合わせ］
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318

南三陸の杉林などを見学

「みやぎSDGsファーム」?の基幹プログラム「みやぎSDGs塾」の受講者らが7月29日、南三陸町への研修ツアーに参加しました。一行は杉材の生産や加工の現場を見学し、SDGsとの関わりについて学びました。

適切な森林管理で林業を持続可能に

最初に訪れたのは、南三陸町で森林を管理する「佐久」の杉林です。同社の佐藤太一さんの案内で山道に入り、手入れの行き届いた林地と放置された林地との違いを実際に体感。降水を蓄えて少しずつ放出する、二酸化炭素を吸収して酸素を放出する、多様な生物の生活の場となる、といった森林の機能を重視した林業のあり方について考えました。「適切な管理によってその機能を維持することが、持続可能な林業につながる」との佐藤さんの言葉に、多くの参加者がうなずいていました。

地域に育まれた山の恵みを生かす

次に一行は「丸平木材」の製材所を見学。同社の小野寺邦夫さんは町の面積に占める民有林や人工林の割合の高さに触れ、「この地域の人々は脈々と山を育んできた」と話しました。

小野寺さんは、新築する家に使う1本の木を施主が自ら伐採する同社の取り組み「伐採式」について説明。参加者からはこの仕組みについて、「家にも、地域の山や自然にも、愛着が湧くと思う」などの感想が聞かれました。

ものづくりを通し地域の山を考える

ツアーの最後は、地域の木材を用いたオリジナルアイテムなどを製造・販売する「南三陸YES工房」を訪問しました。同社の大森丈広さんは「森林管理協議会（FSC）」の認証を受けた南三陸の木材を活用することが、地域の環境を守ることにつながる」との工房の経営理念を語りました。

一行は同社の製品「モクトパス君」の制作を体験。

（上、下・左）佐久が管理する林地で、佐藤さん（右端）の説明に耳を傾ける参加者　（下・中央）丸平木材の工場を紹介する小野寺さん　（下・右）YES工房の大森さん

「モクトパス君」を完成させ笑顔の参加者

参加者のVOICE

手入れが行き届いた林にはさまざまな植物が育ち、自然環境が保たれているのだと感じました。塾の子どもたちにも、自然に対する理解を深める機会を提供できたらと思います。

あすなろ学院
齋藤学さん

? みやぎSDGsファーム

「SDGs（持続可能な開発目標）」の考え方を軸に宮城県内の企業や個人が協力体制を築き、より豊かな地域づくりを目指す取り組み。その推進役となる人材「みやぎSDGsアンバサダー」を育成するプログラムが「みやぎSDGs塾」です。

わが社のSDGs

一人ひとりができることをコツコツ変える意識を持って

株式会社山一地所
代表取締役社長
渡部 洋平さん

8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう

「誰一人取り残さない」という考え方は社会の主流になると確信し、2019年に全社を対象にSDGsを学ぶワークショップを行いました。

最初に行ったのは、全員の名刺を「LIMEX」に変えることです。石灰石からできた素材で、1箱で10トンの水を守ることができます。会社のパンフレットもカーボンオフセット印刷とFSC認証紙に変更しました。また、営農型太陽光発電所の電力を、災害時に住民に提供する防災協定を締結するなどの取り組みも実施しています。

SDGsは、できることからコツコツ変えることが大切です。普段の取り組みがSDGsにつながるという気持ちを持ちたいですね。今後も人のため、社会のためになることに挑戦し、SDGsへの取り組みを進化させてまいります。

ズーズー春秋

「木を使ったものづくりを楽しむことが、山や林業について考えるきっかけになれば」との大森さんの思いを感じながら、作業を楽しんだようでした。

ツアー後に参加者は、「地元の木材を活用することが地域の活性化につながると感じた」「自分の仕事でも、地域資源をどう生かせるかあらためて考えたい」など、研修の成果を話し合いました。

8月2日付の河北新報朝刊で「地域と一緒に！漁網のみらいプロジェクト」を紹介する記事をめっけだっちゃ。使い古した漁網を回収し、別の新しいナイロン製品に。「海と生きる」をスローガンに掲げる気仙沼市による、漁網の廃棄ゼロを目指すプロジェクトでがす。恵みを次世代につなぐため、漁業者と共に深刻化する海洋プラスチックごみ問題の改善を図ってっちゃね▼仙台を拠点に活動するアーティスト中川和寿さんとコラボしたフォトフレーム&ステッカーを販売中でがす。中川さんのメインモチーフである「唄うクジラ」や生きものたちが奏でる不思議な世界観に仙台弁こけしが入りこんでっちゃ▼このグッズの売り上げから宮城県沿岸部でビーチクリーン等の取り組みをしている「みやぎ海岸美化協議会」に少額だげっとも寄付をしたっちゃ～。ふるさとの海の豊かさを改めて見つめ直し、「海と人とを繋ぐ」ことをみんなで応援していぐすぺ。（みやぎSDGs塾長／仙台弁こけし）

よろすぐお願いします

公式HPをチェック！

◉ 第1ターム参加者（敬称略） ◉

【あすなろ学院】佐々木陵太、齋藤学【あんみつ】柴田真希【YES工房】大森丈広【いなか道の駅やしまや】八島哲郎【H.Simple Design Studio】小山田陽【SKホールディングス】須貝祐美、千葉睦実【MSC】畠山紳悟、三浦綾子、本川悠子【エントワデザイン】佐藤寛和【及善蒲鉾店】及川善弥【おおさき地域創造研究会】伊藤竜太【お茶の井ヶ田】石垣直哉【個別教室のアップル】畠山明【佐久】佐藤太一【スイコー】高橋加奈、村上佳穂、澤口祐紀、千葉由章【スタイルスグループ】千田佳子【竹鶏ファーム】赤渕利恵【八幡町商店街ファンコミュニティ】星聡【蜂屋食品】蜂屋和彦【はなぶさ】安藤仁美【東松島みらいとし機構】高橋巧【フクダ・アンド・パートナーズ】千葉真紀子、加藤祐、阿部真美【Brilliant Days】石井由季子【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】土門光晴、坂本未菜美、鈴木巧、山本健【リコージャパン】吾郷賢、高橋寿尚、吉岡瑞恵、成田憲治、渡邉信一郎、石橋光【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ、津田隼利【学生】孫奇、WANG YUPING、佐藤和、丸山結子、奥山瑞己、中川蓮【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有、川出裕佳

◉ 賛同企業・団体・個人 ◉

MSC　SUIKOO　日本製紙株式会社　F&P フクダ・アンド・パートナーズ　みやぎ生協　山一地所　RICOH imagine. change. リコージャパン株式会社
あすなろ学院　SKホールディングス　お茶の井ヶ田　個別教室のアップル　竹鶏ファーム　HOPE
エントワデザイン　及善蒲鉾店　SFP　CSR INTEGRATION　STYLES GROUP　蜂屋食品　はなぶさ　ミライトス株式会社　いなか道の駅やしまや

YES工房　H.Simple Design Studio　おおさき地域創造研究会　佐久　八幡町商店街ファンコミュニティ　Brilliant Days　WACO CREATE　千葉よかこ　津田隼利

特別協力　SDGsとうほく　協力　宮城県　JICA東北　東北大学大学院経済学研究科SDGsラボ　尚絅学院大学SDGsアクション委員会